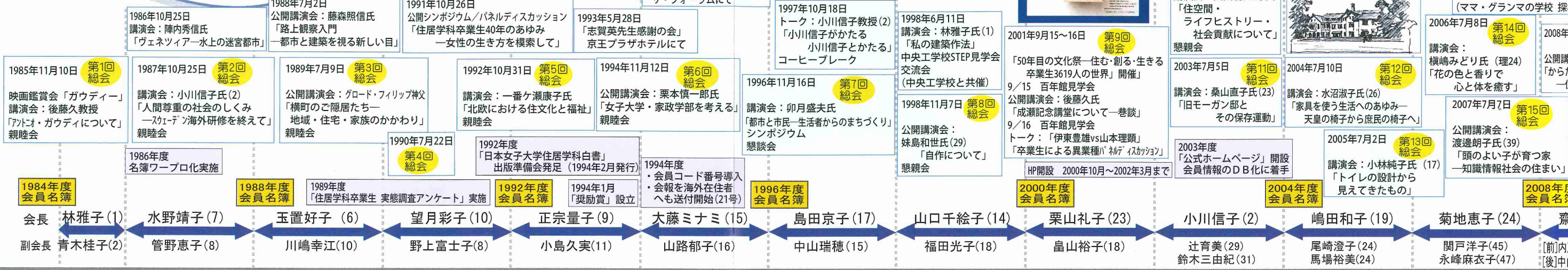
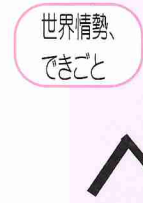
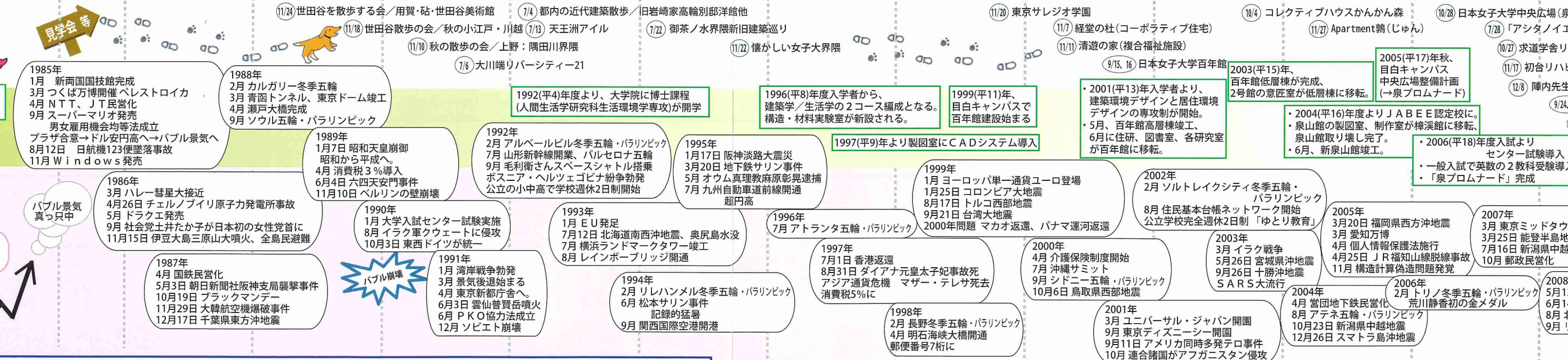


住居の会 30年のあゆみ

講演会等



卒業生累計	1985 昭60	1986 昭61	1987 昭62	1988 昭63	1989 昭64/平1	1990 平2	1991 平3	1992 平4	1993 平5	1994 平6	1995 平7	1996 平8	1997 平9	1998 平10	1999 平11	2000 平12	2001 平13	2002 平14	2003 平15	2004 平16	2005 平17	2006 平18	2007 平17	2008 平20
	2165名	2264名	2349名	2431名	2509名	2597名	2682名	2766名	2870名	2958名	3048名	3148名	3242名	3340名	3423名	3526名	3615名	3708名	3809名	3891名	3982名	4086名	4173名	4263名



日本女子大学住居科卒業生をたてにつなぐ会

初代会長 林 雅子(1回生)

名簿を作ることが、同時に卒業生の会を組織するという、当然といえば当然過ぎる結果に思い至らなかったのは浅はかなことでした。名簿を作るきっかけに、多少の関わりをもったこと、重ねて、日本的な順列からいうところの、最古参、最年長ということで、スタートの1年だけ、柄にもなく会長をお引き受けする仕儀とはなりました。

思えば、住居科の卒業生も、昭和26年の第1回生から数えて今年で34回。既に多数の住居科二世も誕生して、人間ならまさに働き盛りの壮年期を迎えたこととなります。その活動の分野や場のひろがり、多様多彩なものがあります。そして、年代を異にし、身を置く場や地域は違っても、同じ大学の同じ科に学んだ者同士の間には、いわゆる言いたい親近感や共感生まれるものがあります。それを意識するか、しないかは別として、共通の基盤で結ばれているのは、否応のない事実とすれば、その間に親睦や常用の交換が成立するわけです。

あとから続々と巣立ってくる人たちに、望まれば先輩の経験や情報を伝え、また一時期家庭に戻っている優れた資質を、社会の共有財産として役立てるなど、この会には同世代を横につなぐクラス会では果たせない、縦の拡がり、奥行きが期待できます。

この会は、よくあるような、普通の人とは無縁の一部の物好きだけがやって行く種類の会とは違います。いろいろ違う事情をお持ちの、皆さんひとりひとりのお役に立つような会に、みんなで作り育てていくものなのです。国際婦人年の最終年(註：1985年)にこの会が誕生するのも、意味深いものがあると思います。

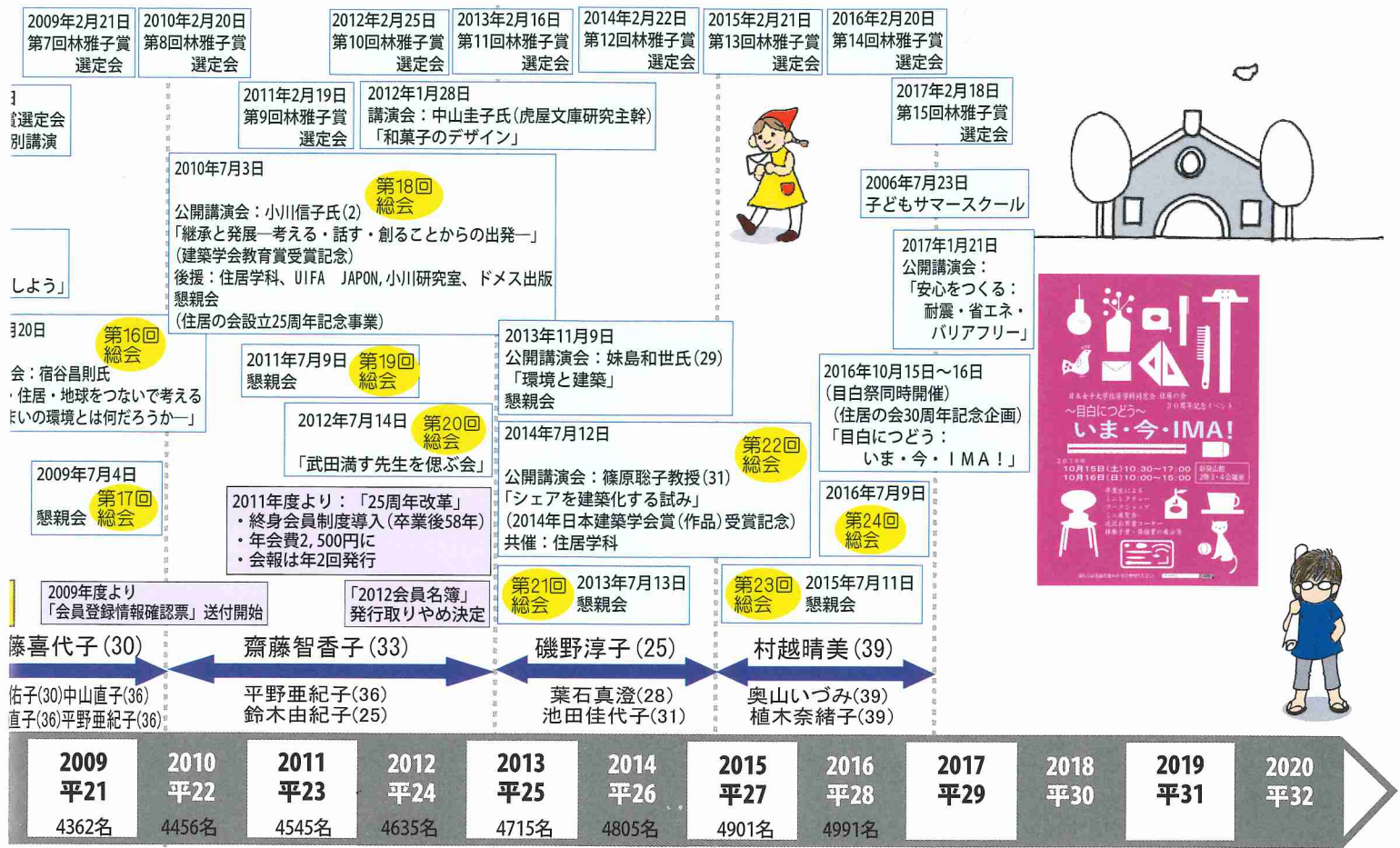
[1985(昭和60)年10月 会報第1号より転載]



- ### ○奨励賞
- 分野を問わず有意義な活動をしている会員を対象に、更なる活躍を願い奨励する賞として、1994年(平6)1月に設立されました。
- 第1回 「卒業生白書」 出版作業部会
 - 第2回 毛利寿子さん(9)
「阪神大震災後の市民と建築家の橋渡し」
 - 第3回 関口裕子さん(10)「公園ゼロの町内での公園づくり」
内藤恵子さん(23)
「春日井市石尾台・お互いさまネットワークの活動」
 - 第4回 田伏純子さん(34)「介護」
 - 第5回 飯野桂子さん(36)「子どもたちが参加した住民館づくり」
 - 第6回 該当者なし
 - 第7回 小谷部育子さん(16)
「旧同潤会アパートの保存・再生に関する一連の活動」
 - 第8回 平野啓子さん(21)「長崎斜面研究会の活動」

- ### ○地域の会 助成
- 1998年より、地域に結びついた活動をしている会員の活動費の一部を助成してきました。
- ・桑山直子さん(23)「旧モーガン邸保存活用運動」
 - ・白石和子さん(16)「建築を楽しむ塾 建築Kengaku塾」
 - ・伊藤牧子さん(26)「こどものためのオープンハウス」
 - ・葉袋奈美子さん(42)
「向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこの場を求めるとの活動」
 - ・山内洋さん(21)「中瀬ビオトープ倶楽部の活動」

- ### ●2007(平19)年度より
- 第9回 伊...
 - 第10回 服...
 - 第11回 佐...
 - 第12回 該...
 - 第13回 馬...
 - 第14回 該...
 - 第15回 宮...
 - 第16回 該...
 - 第17回 式...
 - 第18回 萩...



林雅子賞

優れた女性建築家の育成と住居学科の発展のために2002年に創設されました。毎年、その年度の卒業制作または修士制作において、応募された作品の中から最も優秀と認められた作品の制作者1名に授与されます。(敬称略、カッコ内は回数)

- 第1回「ヤマユリソウ：改新と持続」森山ちはる(53)
 - 選定委員長：林昌二、後藤久、小谷部育子、平田京子、山田初江(1)、北島三和子(11)、大井絢子(15)
- 第2回「現代四合院」藤井洋子(54)
 - 選定委員長：井爪喜久子(7) / 選定委員：林昌二 他全7名
- 第3回「ウズマククウカニサソワレテ」宮原真美子(55)
 - 選定委員長：富田玲子 / 選定委員：石川孝重、篠原聡子、前野益子(21)、林昌二
- 第4回「ROOMS」武田睦子(56)
 - 選定委員長：富田玲子 / 選定委員：沖田富美子、篠原聡子、篠節子(24)、林昌二
- 第5回「Dream・絵本と子ども—三鷹市における絵本館の提案—」加藤真弓(57)
 - 選定委員長：妹島和世(29) / 選定委員：定行まり子、片山伸也、永峰麻衣子(47)、林昌二
- 第6回「CROSS—地域コミュニティ形成のための施設の提案—」高橋絵美子(58)
 - 選定委員長：青木淳 / 選定委員：飯尾昭彦、沖田富美子、石黒由紀(40)、林昌二
- 第7回「レクイエム—死の紡ぎ出す風景—」徳江可那子(59)
 - 選定委員長：山本理顕 / 選定委員：西沢大良、藤本壮介、鈴木賢次、葉袋奈美子(42)、林昌二
 - 山本理顕賞「その窓はやがて道になる」福田悦子
 - 西沢大良賞「まちのプロローグ」立石望
 - 藤本壮介賞「都市の礼拝道—息を吸って、吐いている建築—」脇本夏子
 - 林昌二賞「家出していた家」布留川真紀
- 第8回「ハジマリの塔—京島プロジェクト—」石倉彩子(60)
 - 選定委員長：伊東豊雄 / 選定委員：塚本由晴、乾久美子、平田京子、加藤仁美(27)、林昌二
 - 伊東豊雄賞「ベジタブルライフノススメ—豊島市場の再生計画案—」田中絹子
 - 「都市と地域の狭間で—駒場からみる地域に求められる集合住宅—」青柳有依
 - 塚本由晴賞「森の銀河」宮内礼子
 - 乾久美子賞「ゆらゆらゆれて」山西加奈子
 - 林昌二賞「ハジマリの塔—京島プロジェクト—」石倉彩子
- 第9回「つなぐみちのいえ」山田美貴(61)
 - 選定委員長：西沢立衛 / 選定委員：千葉学、宮晶子(36)、林昌二
 - 西沢立衛賞「RIBBON—そのまちの風景は—」加藤悠
 - 千葉学賞「都市における多文化融合の住まい—KAGURAZAKA COMPOUND—」千葉香子
 - 宮晶子賞「小さな家」伊東加恵
- 第10回「Rolywholyover A Circus」瀬川翠(62)
 - 選定委員長：内藤廣 / 選定委員：五十嵐淳、赤松佳珠子(40)
 - 内藤廣賞「更新のハコ—地方港町商店街における再生デザインの提案—」山梨聡美
 - 五十嵐淳賞「だんだん—人と人が上手い具合に出会える場—」井上季美子
 - 赤松佳珠子賞「街囊(がいのう)—木造密集市街地における街区形成の形—」鈴木優子
- 第11回「イダマリー—人の抛り所になる空間の提案—」壘(もたい)彩子(63)
 - 選定委員長：小嶋一浩 / 選定委員：平田晃久、末廣宣子(33)
 - 小嶋一浩賞「壁に寄り添う家族—匿名性と顕名性を行き交うシェアハウス—」加藤ひかる
 - 平田晃久賞「こどものいえ—リビングのある保育空間—」榎本敦子
 - 末廣宣子賞「時と共に集う—木造密集地における新しい住まい方の提案—」阪本文加
- 第12回「都市を見ている貴方を見ている私の居る都市—生きる余白とその周縁—」橋田麦(64)
 - 選定委員長：古谷誠章 / 選定委員：長谷川豪、東理恵(32)
 - 古谷誠章賞「みちのほいく園—東京23区の待機児童から見た地域の子どもの施設のありかたについて—」藤井里咲
 - 長谷川豪賞「ある一本の生活のみち」高村舞
 - 「王子綺譚」鈴木あいね
- 第13回「みつめ、考えるための建築—人々が行き交うホームの上—」箕輪久子(65)
 - 選定委員長：横文彦 / 選定委員：北川恒、橋本都子(院14)
 - 横文彦賞「輻輳都市2M(ふくそうとしにめが)」徳重早織
 - 北川恒賞「都市の隙間」石塚真菜
 - 橋本都子賞「公民家“久保のおばあちゃんち”—山口県下松市来巻古民家の改修・活用計画—」中村沙樹子
- 第14回「川に積もる雪・集う人—三条鍛冶が運ぶものづくりからの再生—」武田基杏(66)
 - 選定委員長：竹山聖 / 選定委員：大西麻貴、貝島桃代(41)
 - 竹山聖賞「初音子ども園」小黒日香理
 - 大西麻貴賞「生き続ける家—心的イメージと感情における空間モデルの構築—」吉永沙織
 - 貝島桃代賞「ポップアップホテル」小川理玖

り、「奨励賞」(隔年度)と「地域の会 助成」(毎年度)を統合し、毎年開催の「住居の会奨励賞」となりました。

- 村則子さん(37、院12)「市民に向けた防災・減災教育活動」
- ヒ恵子さん(39)「社会福祉法人桔梗 ききょう保育園あじさい村の設計・監理」
- 弥重子さん(19)「らいてうの家 設計プロジェクト」
- 麻里子さん(47、院20)「医療法人幸善会前田病院 設計・監理」
- 藤由紀子さん(39)「読売ランド前駅周辺まちづくりプロジェクトの活動」
- 当者なし
- 未織さん(46、院19)「NPO法人 南房総リパブリックの活動」
- 当者なし
- 眞理子さん(26)「空き家を活用して地域コミュニティを再生しよう〜タウンコレクティブのこころみ〜」
- 当者なし
- 香織さん(45、院18)「コドモチョウナイカイの活動」
- 日紗栄子さん(16)「NPO法人高齢社会の住まいをつくる会の活動」
- ゆきさん(39)「まるやま組の活動」